市民病院事務局総務課

令和２年度高岡市高岡市民病院事業会計決算の概要

１　患者数の状況

項目			令和2年度	令和元年度	対前年度増減	
					増　減	率（%）
患者数	入院	延べ患者数	94,307　人	108,378　人	▲ 14,071	▲ 13.0
		診療実日数	365　日	366　日	▲ 1	▲ 0.3
		一日平均患者数	258.4　人	296.1　人	▲ 37.7	▲ 12.7
	外来	延べ患者数	170,854　人	192,641　人	▲ 21,787	▲ 11.3
		診療実日数	243　日	240　日	3	1.3
		一日平均患者数	703.1　人	802.7　人	▲ 99.6	▲ 12.4
	計		265,161　人	301,019　人	▲ 35,858	▲ 11.9
病床利用率（401床）			64.4　%	73.8　%	▲ 9.4　ﾎﾟｲﾝﾄ	
平均在院日数			13.3　日	13.1　日	0.2　日	
実入院患者数			6,495　人	7,671　人	▲ 1,176　人	

入院では、延患者数は94,307人で前年度に比べ14,071人（△13.0%）の減少、一日平均患者数は258.4人で前年度に比べ37.7人の減少となりました。また、実入院患者数は6,495人で、前年度に比べ1,176人の減少となりました。外来では、延患者数は170,854人で前年度に比べ21,787人（△11.3%）の減少、一日平均患者数は703.1人で前年度に比べ99.6人の減少となりました。また、全病床の利用率は64.4%で、前年度に比べ9.4ポイント減少しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により受診控えが起こり、他医療機関からの紹介患者数が減少したことや救急からの入院件数が減少したこと、軽症患者が減少したこと等によるものと考えられます。

2　収　益　的　収　支　の　状　況

（単位：千円）

区分	年度	令和2年度 決算額(a)	令和元年度 決算額(b)	増減 金額(a-b)	増減 率(%)	備考（増減理由の主なもの）
経常収益	医業収益(Ⅰ)	7,260,998	7,944,356	▲ 683,358	▲ 8.6	
	入院収益	4,994,876	5,563,396	▲ 568,520	▲ 10.2	・入院単価 52,964円（51,333円(R1)）＋1,631円 ・延入院患者 94,307人(108,378人(R1)) ▲14,071人
	外来収益	2,007,957	2,088,502	▲ 80,545	▲ 3.9	・外来単価 11,752円(10,841円(R1)) ＋911円 ・延外来患者 170,854人(192,641人(R1)) ▲21,787人
	その他医業収益	258,165	292,458	▲ 34,293	▲ 11.7	
	医業外収益	2,305,039	922,648	1,382,391	149.8	
	受取利息及び配当金	0	0	0	－	
	補助金	2,219,019	881,851	1,337,168	151.6	・県補助金の増加
	長期前受金戻入	14,739	14,850	▲ 111	▲ 0.7	
	その他医業外収益	71,281	25,947	45,334	174.7	・国庫補助金の増加
	計 (A)	9,566,037	8,867,004	699,033	7.9	
経常費用	医業費用(Ⅱ)	8,437,225	8,348,114	89,111	1.1	
	給与費	4,619,673	4,687,726	▲ 68,053	▲ 1.5	・退職給付費の減少 ・会計年度任用職員制度開始に伴う経費への予算科目振替による減少 ・会計年度任用職員に係る期末手当の支給による増加
	材料費	1,630,095	1,791,388	▲ 161,293	▲ 9.0	・患者減少に伴う薬品費・診療材料費の減少
	経費	1,399,730	1,309,718	90,012	6.9	・修繕費の増加 ・委託料の増加 ・会計年度任用職員制度開始に伴う給与費からの予算科目振替による増加
	減価償却費	680,667	533,121	147,546	27.7	・器械備品に係る減価償却費の増加
	資産減耗費	95,322	4,539	90,783	2,000.1	・固定資産除却に係る資産減耗費の増加
	研究研修費	11,738	21,622	▲ 9,884	▲ 45.7	
	医業外費用	504,832	512,869	▲ 8,037	▲ 1.6	
	支払利息	158,046	175,451	▲ 17,405	▲ 9.9	・償還利子の減少
	その他医業外費用	346,786	337,418	9,368	2.8	
	計 (B)	8,942,057	8,860,983	81,074	0.9	
経常損益(C) (A)－(B)＝(C)		623,980	6,021	617,959	10,263.4	
医業損益（Ⅰ-Ⅱ）		▲ 1,176,227	▲ 403,758	▲ 772,469	▲ 191.3	
	特別利益(D)	183,022	0	183,022	皆増	・医療従事者への慰労金や激励金の収納
	特別損失(E)	183,013	586	182,427	31,130.9	・医療従事者への慰労金や激励金の支出
特別損益 (D)-(E)＝(F)		9	▲ 586	595	101.5	
減価償却費等引当前収支		1,417,052	559,639	857,413	153.2	
総収益 (A)+(D)		9,749,059	8,867,004	882,055	9.9	
総費用 (B)+(E)		9,125,070	8,861,569	263,501	3.0	
純損益 (C)+(F)		623,989	5,435	618,554	11,380.9	

医業収益においては、入院収益及び外来収益ともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数が減少し、大幅な減収となりました。医業費用については、給与費や材料費で減少したものの、新型コロナウイルス感染症対応のための修繕の実施や臨床検査委託の増加等により経費が増加し、増加しました。その結果、医業収支においては、大幅な収支悪化となりました。

しかし、医業外収益において、新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れるための病床確保補助金等の計上した結果、経常利益を計上することができました。

3　資本的収支の状況

（単位：千円）

区分	年度	令和2年度 決算額(a)	令和元年度 決算額(b)	増減 金額(a-b)	増減 率(%)	備考（増減理由の主なもの）
資本的収入	企業債	232,500	468,300	▲ 235,800	▲ 50.4	
	医療器械及び備品購入費	181,800	368,500	▲ 186,700	▲ 50.7	
	施設改良費	50,700	99,800	▲ 49,100	▲ 49.2	
	出資金	236,626	105,096	131,530	125.2	
	企業債償還元金	95,673	102,596	▲ 6,923	▲ 6.7	・企業債償還元金の2/3（H14以前許可分）又は1/2（H15以降許可分）
	医療器械購入	80,323	2,500	77,823	3,112.9	・医療器械購入に係る繰入の増加
	施設改良	60,630	0	60,630	皆増	・施設改良に係る繰入の増加
	固定資産売却代金	169	3,582	▲ 3,413	▲ 95.3	
	補助金	143,807	0	143,807	皆増	・補助金の増加
	計　(A)	613,102	576,978	36,124	6.3	
	うち翌年度繰越財源の充当額　(B)	49,936	0	49,936	皆増	・繰越事業に係る出資金
資本的支出	建設改良費	527,073	520,307	6,766	1.3	
	医療器械及び備品購入費	475,170	403,498	71,672	17.8	・CTや乳房X線撮影装置等医療器械購入
	施設改良費	51,903	116,809	▲ 64,906	▲ 55.6	・無停電電源装置更新工事等
	企業債償還金	1,091,842	1,116,476	▲ 24,634	▲ 2.2	
	投資	893	96	797	830.2	
	住宅敷金	893	96	797	830.2	・医師住宅敷金の支払額の増加
	計　(C)	1,619,808	1,636,879	▲ 17,071	▲ 1.0	
資本的収支差引額 [(A)-(B)]-(C) =(D)		▲ 1,056,642	▲ 1,059,901	3,259	0.3	
前年度繰越財源充当額　(E)		0	0	0	－	
再差引額　(F)		▲ 1,056,642	▲ 1,059,901	3,259	0.3	
	消費税資本的収支調整額	938	0	938	皆増	
	損益勘定留保資金	1,055,704	1,059,901	▲ 4,197	▲ 0.4	

資本的支出は減少しました。これは、新型コロナウイルス感染症対応に係る医療器械や施設改良を実施したことにより、建設改良費が増加した一方で、企業債償還金が減少したことによるものです。

その財源である資本的収入は、増加しました。これは、企業債が減少した一方で、新型コロナウイルス感染症対応に資する医療器械購入や設備工事の実施に対して、国及び県からの補助金等を充当したことによるものです。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金（減価償却費等）で補填しました。